

事業所における自己評価総括表

公表			
○事業所名	児童デイサービス ドリーム前田 (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 15日		～ 令和7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 26名	(回答者数) 24名	
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 15日		～ 令和7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 13名	(回答者数) 13名	
○事業者向け自己評価作成日	令和7年 2月 12日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されている。	個別支援計画を作成時には、保護者の要望やアセスメントをとり、お子さんの発達を把握している。また、全職員でお子さんの様子についての共通理解を図り、目標を定めて個別支援計画の作成を行っている。	保育園や幼稚園、関係機関などとも連携し支援内容の検討を行い、お子さんに必要な目標を設定し、個別支援計画の作成を行う。
2	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができている。	電話やアプリ機能を使用して保護者とやり取りを行い共通理解に繋げている。その他にお子さんの変化や保護者の悩まれていることや不安がある時にはお電話や面談等で直接お話を聞かせていただき、対応方法の検討や助言等を行っている。	保護者の思いに十分に寄り添いながら、お子さんの状況の共通理解を図っていく。ドリームでの様子の変化等がみられたときにも保護者との情報交換を行い、お子さんの様子について都度共有していけるようにしていく。
3	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援を提供している。	保護者からお聞きしたご要望や、お子さんの発達に応じた支援を行っている。お子さんに必要な課題を集団、個別と組み合わせ実施している。保護者からの要望やお子さんの状況に応じて専門的療育も実施している。	アセスメントシートを活用し、お子さんに必要な専門的な支援を行うことができるように分析していく。支援が必要なお子さんに合わせて専門的療育を受けられる機会を設定していく。
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	町内会の活動へ参加し、地域住民の方と関わる機会があったが、地域へ当事業所が発信したり、招くなどの機会を設けることはできなかった。	今後も地域の活動に参加を行うことで、地域の方々との関わりを作っていく。また、事業所ができる地域への発信としてできる内容を検討していきたい。
2	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	戸外活動などで、地域のお子様と同じ空間で過ごす機会はあったがそれほど多く機会を設けることはできなかった。お子さんの年齢や特性を考慮した時に、交流することが難しい場合もある。	戸外活動時には地域のお子さんと同関わる機会を設けたり、お子さんの年齢や特性等を考慮しながら、保育園や幼稚園と交流する機会を検討していきたい。
3	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	茶話会や就学相談会を開催し、保護者様同士で困りごとや、育児の中で嬉しかったことなど、様々な話を話す機会を設けることができたが、いずれも1回の開催となったため、当日参加が難しく参加できない保護者の方も多かった。	就学相談会は今後も継続し、情報の提供の場面を作っていく。また、保護者対象の茶話会を複数回実施するなど、より多くの保護者の方の参加に繋がるよう、開催方法を検討していく。

事業所における自己評価総括表

公表			
○事業所名	児童デイサービス ドリーム前田 (放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	令和7年 1 月 15 日		～ 令和7年 1 月 31 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	令和7年 1 月 15 日		～ 令和7年 1 月 31 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 13名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 12日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。	個別支援計画を作成時には、保護者の要望やアセスメントをとり、お子さんの発達を把握している。また、全職員でお子さんの様子についての共通理解を図り、目標を定めて個別支援計画の作成している。	小学校や特別支援学校、関係機関などとも連携を図り支援内容を検討し、お子さんに必要な目標を設定し、個別支援計画の作成を行う。
2	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができている。	電話やアプリ機能を使用して保護者とやり取りを行い共通理解に繋げている。その他にお子さんの変化や保護者の悩まれていることや不安がある時にはお電話や面談等で直接お話を聞かせていただき、対応方法の検討や助言等を行っている。	保護者の思いに十分に寄り添いながら、お子さんの状況の共通理解を図っていく。ドリームでの様子の変化等がみられたときにも保護者との情報交換を行い、お子さんの様子について都度共有していけるようにしていく。
3	子どもは安心感をもって通所している。	学校終了後に過ごす場所として、当日のお子さんの状況や気持ちをしっかりと把握することに努めている。活動内容も柔軟に対応している。職員やお友だちとの信頼関係を築くことで、居心地の良い場所となるように日々関わっている。	今後もお子さん一人ひとりの気持ちに十分に寄り添いながら、過ごせるように関わっていく。また、お子さんの変化を見逃さず、安心して通わせられる場所となるように心掛けていく。
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	町内会の活動へ参加し、地域住民の方と関わる機会があった。地域に開かれた事業所として展開することはあまり行えなかった。	今後も地域の活動に参加を行うことで、地域の方々との関わりを作っていく。また、事業所ができる地域への発信としてできる内容を検討していきたい。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	茶話会を開催し、保護者様同士で困りごとや、育児の中で嬉しかったことなど、様々な話を話す機会を設けることができたが、1回の開催となったため、当日参加が難しく参加ができない保護者の方も多くいた。	保護者対象の茶話会を複数回実施するなど、より多くの保護者の方の参加に繋がるよう、開催方法を検討していく。
3	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	長期休み期間に児童会館へ交流を行うことができたが、それほど多く機会を設けることはできなかった。平日は下校時間が異なり活動時間にも限りがあるため、交流に繋げることが難しい。	戸外活動時には地域のお子さんと関わる機会を設けていくこと、また近隣の児童会館との交流する機会を今後も継続して行っていく。また、地域の活動にも赴き、地域交流へと繋げていく。